



恒例のCSN主催第5回オープンセミナーが、8月12日午後2時より、オリンピック記念青少年総合センター会議室で開催されました。

猛暑にもかかわらず33名の方がご参加くださいました。

セミナー講師は、千葉県松戸市でユニークな地域医療活動をされている島村トータル・ケア・クリニック院長島村善行先生です。

主催者が島村先生にお願いした演題は、「ポジティブエイジング（健康長寿）」でした。先生は、わがCSNのミッションに関心をよせられ、会員が問題意識の高いシニアで構成されているときいて、それならば、一般的な講演形式ではなく、参加者と議論しながら自分も勉強したいと申されました。そこで、冒頭の写真のように、「トータル・ケア医療をめざそうとする一臨床医との、人生観・死生観・医療観の対話集会」と先生ご自身が副題をつけてくださいました。

講演開始早々、先生はご自分の携帯電話番号を大きく板書きされ、「健康に不安を感じたら、いつでもここに連絡ください」と言われました。仕事などで、緊急連絡先が自分になった立場の経験がある方はお判りと思いますが、仮にその電話が一度も鳴ることはなくても、24時間ただ持っているだけでも大変なプレッシャーになります。なかなか、出来ないことと思いました。

さて、講演は、多くのメンバーが直面している話題だけに、みなさんメモをとりながら熱心にき



きいりました。先生は、その期待に十分応える密度の濃い内容を、聞きやすく、わかりやすくお話を

さいました。筆者は、先生の講演を何度か拝聴していますが、いつになく気合がはっていると感じました。講演内容については、加来氏の詳しい報告が次項に掲載されていますのでご覧ください。

講演と質疑応答を通じて伝わってくる、先生の医師としての誠実な姿勢、老後を有意義に過ごすために医療に止まらず生きがいづくりへの様々な取り組みへ挑戦する使命感、などに深い感銘をうけました。

先生、いいお話を本当にありがとうございました。

ところで、先生は講演でNPOとの連携について言及されています。これからは、高齢者が高齢者を支える、自分達は自分達で支える工夫が必要との認識から、シニアを活用するためにNPOの力が必要になり、CSNに期待したい、との趣旨と理解しました。

CSNとしては、先生がめざしているトータルケアのなかで、そのご期待にどうお答えするか今後検討したいと考えています。たとえば、要介護者を元気なシニアが支える仕組みを提言して、今回のすばらしいご講演への、わたしたちの感謝の気持ちとしたいものです。

懇親会は、会場を構内の〔レストランさくら〕に移して16時過ぎから開かれ、講演会参加者の七割以上の方がご参加くださいました。ここは、宿泊棟の9階にあり、窓から代々木公園の緑と新宿副都心を展望できます。

講演での熱気はさめることなくつづき、先生との対話が弾みます。

17時半、先生は「これから病院の宿直当番」といって帰られました。ほとんど休みのとれない中の貴重な日曜日の午後を、わたしたちに割いていただき、改めて感謝申しあげる次第です。

